

審議会等の会議結果報告

1 会議名	津市ケーブルテレビ放送番組審議会
2 開催日時	平成24年8月22日(水) 午後1時40分から午後4時まで
3 開催場所	津リージョンプラザ第2会議室
4 出席した者の氏名	(津市ケーブルテレビ放送番組審議会委員) 中川幹夫、田中彌、木下慶子、井上勝司、中田かほる、 上島均、鈴木伸哉、中山麻子、岩橋邦晃 (事務局) 政策財務部長 益野明弘、広報課長 青山友理子、広報課 広報担当主幹 樋口哲也、広報課広報担当副主幹 杉山美紀、 広報課 安藤洋子
5 内容	1 委員委嘱式 2 津市ケーブルテレビの概要説明 3 平成24年度放送内容について 4 その他
6 公開又は非公開	公開
7 傍聴者の数	なし
8 担当	政策財務部 広報課 一志放送通信センター 電話番号 059-293-3035 E-mail 229-3111@city.tsu.lg.jp

・議事の内容 別紙のとおり

津市ケーブルテレビ放送番組審議会

議事録

日時：平成24年8月22日（水）

午後1時40分～午後4時

場所：津リージョンプラザ第2会議室

津市政策財務部広報課

<p>青山課長</p>	<p>お待たせいたしました。</p> <p>それでは、ただ今から、津市ケーブルテレビ放送番組審議会委員委嘱式及び審議会を開催させていただきます。</p> <p>本日は、大変お忙しい中、またお暑い中、ご出席をいただき誠にありがとうございます。</p> <p>私、この審議会の議長が決まりますまで、進行をさせていただきます、広報課長の青山でございます。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、事項書の1「津市ケーブルテレビ放送番組審議会委員委嘱式」を行いたいと思います。</p> <p>今回、津市ケーブルテレビ放送番組審議会委員として9名の皆様にご就任をお願いしております。</p> <p>ただ今から、委員にご就任いただく皆様のご紹介とともに、政策財務部長 盆野明弘より、委嘱状をお渡しさせていただきます。</p> <p>なお、本来であれば8月20日に委嘱式を行うべきところ、審議会開催の都合上、本日22日にお渡しすることをご了承ください。</p> <p>委嘱期間は平成24年8月20日から平成26年8月19日までとなります。</p> <p>それでは、「津市ケーブルテレビ放送番組審議会委員名簿」の順にお渡しさせていただきますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、部長お願いします。</p> <p style="text-align: center;">【盆野政策財務部長より委嘱状交付】</p>
<p>青山課長</p>	<p>皆様、どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、ただ今から事項書2「津市ケーブルテレビ放送番組審議会」へ移らせていただきます。</p> <p>ただ今、ご出席の委員数は、9名で、委員総数の半数に達しておりますことから、ただ今から、津市ケーブルテレビ放送番組審議会を開会させていただきます。</p> <p>それでは、開会に当たりまして、盆野明弘政策財務部長よりごあいさつを申し上げます。</p>
<p>盆野部長</p>	<p>政策財務部部長の盆野でございます。</p> <p>よろしくお願いいたします。</p> <p>まず、本来ですと市長が出席させていただきごあいさつ申し上げるべきところではございますが、公務が重なりまして、誠に申し訳ございません。</p>

が、欠席させていただきます。皆様にはくれぐれもよろしくとのことでしたので、よろしく願いいたします。

本日は大変お忙しい中、この津市ケーブルテレビ放送番組審議会にご出席を賜りましてありがとうございます。

また、平素は、市政に対しまして何かとご理解、ご協力をいただきまして、重ねて厚く御礼申し上げます。

さて、津市は、県内第一の非常に広い市域の行政運営を行っております。この中で、情報をいかに発信していくのか、いかに情報を迅速かつ正確に市民の皆様にお届けするのかが大変重要になって参ります。

そういった中で、平成24年度機構改革におきまして、広報室が広報課へと変わりました。また、商工観光部にごさいましたシティプロモーション担当が新たに政策財務部広報課に加わることになりまして、今まで以上に津市の情報や魅力の発信を高めることができました。

その1つの媒体でございます、ケーブルテレビを利用した情報発信は、広域化した市域において、市政情報を迅速かつ正確にお届けするための手段として、広報紙やインターネットホームページと並ぶ大きな柱でございます、また今後も、津市が制作する行政情報番組を通じ、市民の皆様、行政情報や地域の出来事など、様々な情報を発信してまいりたいと考えております。

委員の皆様方には、当審議会におきまして、番組の内容や編成等についてご審議をいただきまして、よりよい番組づくりにつなげていきたいと考えております。

どうぞ、よろしくご指導お願い申し上げます。

はなはだ簡単ではございますが、ごあいさつとさせていただきます。

青山課長

それでは、会議を始めさせていただきます。

まず、この審議会は、「津市ケーブルテレビ放送番組審議会条例」に基づき設置いたします審議会であり、名称は津市ケーブルテレビ放送番組審議会、「放送番組基準の制定又は変更に関する事」、「放送番組の編成に関する基本計画の制定又は変更に関する事」などについて、調査審議していただく審議会でございます。

よろしく願いいたします。

それでは、ここで委員の皆様をご紹介させていただきます。

【委員の紹介】

青山課長	<p>続きまして、出席をいたしております職員を紹介させていただきます。</p> <p style="text-align: center;">【樋口担当主幹以下、職員の紹介】</p>
青山課長	<p>それでは、事項書によりまして、会議を進めさせていただきます。</p> <p>事項書の2-3、会長及び副会長の選任に移らせていただきます。</p> <p>会長及び副会長につきましては、「津市ケーブルテレビ放送番組審議会条例」第5条におきまして、審議会に会長1人、副会長1人を置き、委員の互選により定めることとなっておりますが、どのように取り扱わせていただきますでしょうか。</p>
井上委員	<p>事務局に一任したいと思います。何かお考えがあればお願いしたいと思います。</p>
青山課長	<p>事務局一任という声をいただきました。</p> <p>それでは、私どもの案としましてお示しさせていただきたいと思います。</p> <p>会長には、自治会連合会長の中川委員、副会長には、津商工会議所女性会の木下委員、このお二方をお願いできればと考えております。</p> <p>いかがでしょうか。</p>
一同	<p>異議なし</p>
青山課長	<p>ありがとうございました。それでは、会長に中川委員、副会長に木下委員をお願いしたいと思います。</p> <p>よろしく願いいたします。</p> <p>会長には、お席を前の方にお移りいただきますよう、よろしく願いします。</p> <p style="text-align: center;">【中川会長、席移動】</p>
青山課長	<p>それでは、「津市ケーブルテレビ放送番組審議会条例」第6条により、会長が議長を兼ねる事となっておりますことから、ここからは、会長に会議を進めていただきたいと思います。</p> <p>会長、よろしく願いいたします。</p>
中川会長	<p>ご指名いただきました中川でございます。どうぞよろしく願いします。</p>

<p>青山課長</p>	<p>今日の予定はお手元に事項書が配られていると思います。</p> <p>この事項書に従って会議を進めてまいりますので、よろしくご審議をいただきたいと思います。</p> <p>それでは、事項書の2-4ですね、津市ケーブルテレビの概要説明について、事務局から説明をお願いいたします。</p> <p>それでは、事項書2-4津市ケーブルテレビの概要説明をさせていただきます。</p> <p>お手元の冊子資料をご覧ください。</p> <p>津市におきましては、「平成24年度津市ケーブルテレビ放送番組一覧」のとおり、行政情報番組の制作と放送を行っております。</p> <p>津市の行政情報番組は1時間または2時間の番組を基本に、午前6時から午後12時までの間でリピート放送を行っております。</p> <p>それぞれの番組は毎月1日から7日まで、8日から15日まで、16日から22日まで、23日から月末までの月4回の番組更新を行っております。</p> <p>それぞれの番組におけますオープニング、エンディングの構成やスタジオセット等につきましては、毎年1回、5月の番組改編の時期に合わせて更新しておりますので、今年の5月から新しいスタジオセットで装いも新たに番組をスタートしております。</p> <p>なおコーナーごとの詳細につきましては、「平成24年度津市ケーブルテレビ放送番組一覧」のとおりとなっております。</p> <p>後ほど、事項書2-5において現在放送しております番組を3本ほどご覧いただきたいと思います。</p> <p>また、庁内各課から、行政情報の告知についての要望も多くございますことから、定期的な番組のほかに1、2分程度のスポット的なお知らせ番組も制作・放送しております。</p> <p>このほか、食中毒や熱中症など、季節ごとに注意喚起が必要な番組につきましても、制作・放送してまいりました。</p> <p>テレビというメディアを利用して繰り返し呼び掛けることで、市民の皆さんへの周知が効果的に行えるものと考えております。</p> <p>また、災害対策本部が設置された場合に、放送中の通常番組を中断して、避難所開設情報や避難勧告が行われた地域の情報等を、文字放送で24時間お知らせします。</p> <p>災害対策本部の一員として、各種メディアを通じた防災関連情報を迅速にお伝えすることは重要な使命として取り組んでいきたいと思っております。</p>
-------------	--

	<p>す。</p> <p>津市ケーブルテレビの概要説明については、以上でございます。</p>
中川会長	<p>今、説明していただきましたが、お聞きになられて、まずご質問はございませんか。</p> <p>ご質問がなければ、ご意見を伺います。</p>
井上委員	<p>今言われましたように、災害が起こった場合の対応が、新たに、今までのケーブルテレビではなかったことが任務となり、非常に大事なことだと思いますので、防災危機管理部と連絡を密にして、災害関係の情報を市民の皆さんに迅速かつ正確にお伝え願いたいと思います。これは要望です。以上です。</p>
中川会長	<p>そうですね、いつ起こるか分からないと言われていきますから。</p> <p>各地域ではそれぞれのところでは訓練はしているんですが、総合的なことはなかなか難しいですから、いざとなったらよろしくお願いします。</p>
樋口主幹	<p>ありがとうございます。</p>
中川会長	<p>はい。他に。</p>
上島委員	<p>質問に戻ってよろしいですか。</p> <p>スタジオはどこにありますか。</p>
樋口主幹	<p>一志の総合支所の敷地の中にごございます。</p>
上島委員	<p>例えば地震が起きて、そこが潰れてしまっただけでは放送は流せないですよ。かなりきちんとしてもらってあるのでしょうか。</p>
樋口主幹	<p>そこから放送をかけていますので、そこが潰れてしまっただけでは放送をかけることはできないのですが、その場合はZTVさんに回線をお借りしていますので、ZTVの回線から流せないか調整することはできると思います。</p>
上島委員	<p>スタジオは心臓部ですよ。それなりのことをしてないとね。</p> <p>少し心配しただけです。以上です。</p>

<p>盆野部長</p>	<p>少し仕組みを申し上げますと、風水害等で警報が発令されますと同時に津市災害対策本部が設置されまして、ただちに災害対策本部会議が招集されます。津市長を本部長といたしまして、農林水産班、土木班、工作班、広報班が編成されまして、すぐに情報交換をします。</p> <p>例えば、雲出川水系の川の監視カメラについて、国交省の三重河川事務所の所長と市長が緊急時に直接話ができるような衛星携帯電話を使って途切れのない情報交換を行います。そして、警戒水位を超えた段階で、ただちに災害対策本部がもう一度招集されまして、どの地区をまず避難していただくかと。</p> <p>以前は、例えば一志町の皆さんに避難してくださいとじていましたが、では、どこの自治会さんが緊急に差し迫っているかということで、ここ一、二年の間は各自治会単位で、あらかじめ何々自治会の皆さんご避難くださいと細分化しましてやっております。</p> <p>同時に一志のケーブルセンターと連絡を取っていますが、万が一、センターと連絡が取れなくなった時は、文字放送だけでも本庁の広報課でできるようにしています。</p> <p>また、同報系無線が全市域に配備されました。ただちに、備え付けた大きな無線で放送をかけると。そして今年度と来年度で約500カ所の移動無線を有する無線局をもう一個作り上げます。</p> <p>これにより同報系無線でお知らせをした後、機動性を生かして、パトロール車が各地区をまわるということも、来年度以降は強化できると考えております</p> <p>上島委員が言われるように、唯一のものが災害の中で万が一使えなくなった時どうすればよいかということで、即NHKにテロップを流してもらうことや民放さんも最大限活用して、同時に情報発信していけるように、危機管理部が各報道と連携をとっております。</p> <p>センターは耐震もきちんとした建物ですが、万が一というときには業務継続ができるように広報の方でも設備を持っております。</p>
<p>中川会長</p>	<p>はい、それでは他にございますか。</p>
<p>木下委員</p>	<p>災害のことについて、時々放送で避難訓練やマイクのテストが行われていますが、これはケーブルテレビと元は同じですか。</p>
<p>中川会長</p>	<p>公園のマイクですね。</p>

<p>盆野部長</p>	<p>アナログからデジタルに移行いたしましたして、新たに放送設備を全て更新いたしました。これはケーブルテレビとは別になります。</p> <p>危機管理の方からの指令で流しております、市域一斉や、例えば一志地域や美杉地域などのエリアごとに流すこともできるように設備を整えております。</p>
<p>木下委員</p>	<p>全部に届くように放送するスイッチと地域に届くスイッチがあるのですか。</p>
<p>盆野部長</p>	<p>そうです。テストも含めて、町民運動会などの地域情報にも使用しています。これは緊急時の場合だけですと、万が一の場合の故障もありますので、不備がないようにそういった使い方もしています。</p>
<p>木下委員</p>	<p>災害用とっていたら、運動会の放送がかかってびっくりしました。時々スイッチが入る時も、何の災害かなと思ひまして。</p>
<p>盆野部長</p>	<p>実は、各地域の地域審議会や自治会から様々な要望をいただいています。災害のアナウンスを基本とした装置でございますが、地域の皆さんが地域の絆やコミュニティの中で使いたいというご要望がありますし、私共は逆に1年に1回起こるか起こらないかというものですから、テストがなされていないと本番の時に大変なことになります。普段お使いいただくことで、聞こえにくい場合などは職員が調整に伺わせていただけます。地域のコンセンサスを得ていただいたものに限って放送させていただいているのが現状です。</p>
<p>木下委員</p>	<p>田舎ですとところどころに設置されていますね。</p> <p>街中だと聞こえにくいですね。</p>
<p>中川会長</p>	<p>建物や風の方向により聞こえたり聞こえなかったりですね。</p> <p>何か言っているけれども、何を言っているかわからないこともありますね。その都度、聞こえにくかったなどと防災室に問い合わせています。</p> <p>私のところは敬和公民館が避難所なんですが、7月の終わりに、14、5の自治会で1600人一斉に避難をするという訓練の予定を組み、放送を入れてもらいました。</p> <p>訓練です、という断りを入れて敬和公民館の周辺にだけ聞こえるように流してもらいました。ただ、他にも聞こえてしまいますので、他のところ</p>

	<p>にも文書を配りました。</p> <p>放送が入ってから15分以内で避難できました。避難場所は16カ所ほどですね。公民館は狭いですから、避難できるように高層ビルにも病院にも依頼をしてありまして、どの自治会が一斉にどこに逃げるかということを決めました。</p> <p>その時に放送してもらいました。</p> <p>必要であれば、あらかじめお願いすれば、かなりの地区の訓練のプラスになるように協力していただけたと思います。</p> <p>窓口は防災室ですね。</p>
盆野部長	はい。
中川会長	窓口は8階にある防災室です。
盆野部長	<p>すいません、もう少しだけ。</p> <p>緊急情報は、もたらされた所管が危機管理部に通報します。実例を挙げますと、今年の春、白塚、栗真でイノシシが目撃されました。1分を争うもので、警察に6時20分ごろ、市に7時前ごろに一報がもたらされました。市長にも連絡を取っていたところ、災害対策本部ですぐさま、10分も経たないうちに全域に放送をかけることができました。</p> <p>幸い、衝突やお怪我をされる方はいらっしゃいませんでした。</p> <p>このように、緊急な場合に非常に有効な手段でありました。</p> <p>緊急な場合には最寄りの市の機関に連絡していただきましたら、すぐ危機管理に連絡がされるシステムになっておりますので、よろしく願いいたします。</p>
中川会長	<p>地域にプラスになることでしたら、幅広く協力していただけたと思いますし、聞こえるのかどうかや、機械の調子を点検することにもなりますから活用してください。</p> <p>他に、ご質問などはございませんか。</p> <p>それでは、次に進めてまいりたいと思います。</p> <p>事項書の2-5の「平成24年度放送内容について」事務局から説明を願います。</p>
青山課長	それでは、事項書2-5「平成24年度放送内容について」のご説明をさせていただきます。

樋口主幹	<p>お手元の冊子資料「平成24年度津市ケーブルテレビ放送番組一覧」も併せてご覧ください。</p> <p>それでは、担当の方からご説明いたします。</p> <p>それでは、番組について、制作上の留意事項なども含めて、各コーナーの紹介などをさせていただきたいと思います。</p> <p>お手元の「平成24年度津市ケーブルテレビ放送番組一覧」1ページ、「まるっと津ガイド」タイムテーブルに沿って、番組の説明をさせていただきます。</p> <p>なお、説明の後、前のスクリーンにて、津市制作番組を2本、ZTV制作委託番組を1本、ご覧いただきたいと思います。</p> <p>それでは、タイムテーブルをご覧ください。</p> <p>はじめに、月4回更新されている番組のオープニングでは、アナウンサーの季節の風景やできごとなどに関するあいさつのあと、今回放送する番組内容について紹介しています。</p> <p>次に、1日から7日までの1回目の放送の回では、広報津毎月1日号に掲載されております「市長コラム」の内容について、市長自らが出演し、キャスターを通じて市民の皆さんに語りかける対談形式の番組「TV版市長コラム」を放送しています。</p> <p>市長自らが市民の皆さんに伝えたい市政についての話題を選び、対談形式で分かりやすく市長の考えを伝えることで、市民の皆さんの市政に対する関心に繋がることを期待しています。</p> <p>次のコーナーは「まちのできごと」です。</p> <p>月を通して4回放送しておりますが、このコーナーは市内の話題をニュースとして取り上げ、制作しています。</p> <p>市政に関する情報、地域の特色ある行事の紹介などを行うことで、広い市域を持つ津市の一体感がさらに増せばと努力しております。</p> <p>続いて、主に市役所からのお知らせや、制度の紹介などを行う「市政ガイド」のコーナーは、業務を担当する職員が出演し、プロのレポーターからの質問に回答していくというインタビュー形式で制作を行い、わかりやすく印象的に伝えられるよう、楽しく明るいコーナーづくりに努めています。</p>
------	--

制作は、㈱ZTVへの委託を行っています。

続いては、健康情報などをシリーズでお伝えする「保健センターたいむ」です。このコーナーは、保健センターの担当者が、毎月出演して健康に関する話題を伝えています。

2回目、8日から15日までの放送の回と、4回目、23日から月末までの放送の回の2回、「市長定例記者会見」を放送しています。こちらは、市の重要な施策や緊急事項など、市長が定例に行う記者会見の模様を放送することで、最新の市の情報の発信を行うことを目的としています。こちらは平成23年9月から2回の放送となっております。

おなじく8日から15日までの2回目の放送では、市内の9つの総合支所から、地域の情報を発信する「この津の宝箱！」を放送しています。

総合支所の職員が出演し、おすすめのスポットを紹介するなど、地域の魅力やイベント情報、また地域で活躍する団体などを楽しく紹介し、各地域に対する理解を深める内容となっております。

3回目、16日から22日までの放送には、市内の幼稚園を紹介する「ぼくの！わたしの！園じまん!!～幼稚園編～」を放送しています。

小学校の学校紹介、中学校のクラブ活動の紹介に続き、昨年度から幼稚園を紹介しています。園児たちが、毎日楽しく過ごしている様子や、各幼稚園の取り組みなどを伝えています。

こちらも、制作は㈱ZTVへの委託となっております。

続きまして、津ボートレース場で行われる催しなどを紹介する「ツッキーの水面だより」を放送しています。

今年度、新しく始まったコーナーですが、前回3月の審議会での「レースの模様や結果などは避けた方が良い」とのご指摘を踏まえ、競艇事業課の職員とマスコットキャラクターのツッキーが会話をしながら施設やイベント情報などを中心に紹介していく内容となっております。

4回目、23日から月末までの放送の回には、三重大学大学院医学系研究科家庭医学・医学部附属病院総合診療科にご協力いただき、心と体の健康について考えるコーナー「元気のツボ！」を放送しています。

このコーナーは、医師としての立場から、時節に合った健康に関する情

報、医療情報などを直接話してもらうコーナーです。

続きまして、偶数月に放送の中の「のばせ！子どもの力～輝きプロジェクト～」です。こちらは教育委員会が平成23年度より始めた「輝きプロジェクト事業」について紹介しています。

市内の各小中学校・幼稚園が取り組んでいる輝く学校づくり・特色ある学校づくりについて、プロのレポーターが、先生や地域の方などに質問しながら紹介していくコーナーです。

制作は㈱ZTVに委託しています。

本編終了後のエンディングでは、次回の放送内容の予告を行い、続いてミニ情報のコーナーとして、1回目にはその月の納税の情報を、2回目には前々月に起こった火災や救急出動、交通事故の発生状況を、3回目には、その月初めの市の人口と世帯数を、4回目には来月のボートレース津開催日程を紹介し、エンディングテーマソングとして、市民歌「このまちが好きさ」を流しています。

また、本編終了後は、市役所からのお知らせとして、業務担当課の職員が出演しお知らせする1分程度のコマーシャルや、文字と音声でお知らせする文字放送を放送しています。

その後、毎時45分からは、無料リース番組サイエンスチャンネル及び三重テレビで放送されている津市情報発信番組「ついいと、ツイート！」を放送しています。

その他、まるっと津ガイドとは別に、午前8時、午後2時、午後8時からの2時間は、プラザ津を放送しています。この番組は、いろいろなイベント、講演会、講座などの内容を2時間枠の中で制作し放送しています。

また、通常の番組内容以外にも、不定期に特別番組として番組構成を変更して放送している番組があります。

こちらは、主な番組としましては、市長が津市出身の著名人や津市で功績を残された方、津市とゆかりのある方などと対談を行う15分間程度のコーナーとなっております「市長対談」や、市議会の議会中継を編集したものを放送する「市議会録画放送」なども放送しております。

	<p>それでは、ご説明させていただきました番組の中から、津市制作番組として、ニュースコーナー「まちのできごと」と総合支所から地域の情報を発信する「ここの津の宝箱！」の2本、そして㈱ZTV制作委託番組から、市役所からのお知らせや、制度の紹介などを行う番組「市政ガイド」の1本をご覧くださいと思います。</p> <p>なお、「ここの津の宝箱！」及び「市政ガイド」につきましては、番組時間が長くなりますことから、短く編集しておりますので、ご了承ください。</p> <p style="text-align: center;">【番組視聴】</p> <p>以上が、一番初めに見ていただいた番組がニュースコーナー「まちのできごと」、2本目が総合支所から地域情報を発信する「ここの津の宝箱！」、3本目が㈱ZTV制作委託番組「市政ガイド」となっております。</p> <p>このように行政チャンネルでは、広い市内で行われています市民の皆さんの活動、市のまちづくりなどの取り組みをわかりやすく紹介し、活動や取り組みへの参加、参画をしてもらうきっかけにしていきたいと考えています。</p> <p>今後も創意工夫を行いながら楽しくわかりやすい番組作りに努めていきたいと考えておりますので、現在の放送内容について委員の皆さまの審議をよろしくお願いいたします。</p> <p>中川会長 見ていただいたり、説明を聞かせてもらって、ご質問などはございませんか。</p> <p>井上委員 はい。</p> <p>中川会長 井上委員。</p> <p>井上委員 ちょっとお尋ねしたいんですが、ケーブルテレビで流す番組作りに苦労しているのか、流すものがいっぱいあって困るとか、少ないから苦労しているとか、どんなもんですか。ニュースソースというか、放送するものがいっぱいあって困るんだとか、逆に少なくて何を流すか悩んでるとか。</p> <p>樋口主幹 津市で制作している番組が7本ありまして、うち、委託する番組が3本で、各担当課から紹介させていただく番組はいろいろあるのですが、「まちのできごと」ではニュースを3本放送させていただいているのですが、本</p>
--	---

井上委員	<p>数的には毎回撮影させていただく分はあるのですが、どうしても地域に偏りが出てしまうんですね。イベントは旧津、津地域が多くなってしまいました。他の総合支所の方のニュースの本数が少なくなってしまうんです。</p> <p>なるべく公平に、同じだけの本数の番組を作っていきたいと考えていますので、そこから番組を、ニュースの素材を探していくのが今現在は困難ではあるのですが、なるべくいろいろなところを紹介できればと考えております。</p> <p>放送する番組が少なくて困っているとかではないんですね。</p> <p>例えば、三重には伊勢のケーブルテレビとか松阪のケーブルテレビとかありますけれども、交流というのは全然ないわけですか。</p> <p>番組を見ていると津市内の、内向きの、津市内に関係ある番組ばかりで、これはこれでいいんですけども、例えば伊勢のケーブルテレビと交流があれば、伊勢のケーブルテレビで作ったものを津のケーブルテレビで流したり、津で作ったものを伊勢や松阪や四日市で、という交流はないわけですね。</p> <p>それともう一つ言えば、インバウンド観光、津市内に入ってくる観光客が非常に減っているということで、そういう津市内の観光スポットをしっかりと制作して、四日市や伊勢に、県外なんかが一番いいんだけど、そのような交流をしてお互いに伊勢のものを津で放送したり、津のものを四日市で放送したり、交流してお互いに活性化していったらと思うんですけどね。</p> <p>僕が一番言いたいのは、津市に入ってくる観光客、インバウンド観光と言うんですが、お客さんの入り数が段々減っているということ。もうちょっと外向けの番組も作って、そのような方向はできないのかなということをお尋ねしたいです。</p>
樋口主幹	<p>今、井上委員からお話がありましたように、他市との交流という部分ですね、例えば番組の交換、観光部分での交流ができればですね、津市の観光の部分例えば伊勢市で放送していただくということも可能かとは思いますが、行政がケーブルテレビ局を持って放送をかけているところは、県内でもほとんどない状態です。実際に継続してやっているのが、松阪市さんぐらいなんですね。あとは民間のケーブルテレビ局の番組の一部をお借りして、そこへ一本の番組を流すというイメージでやっているところが多数でございます。</p> <p>例えば伊勢市さんが作った番組をこちらの方へいただいて流すということは、伊勢市さんが作っている番組の内容は、伊勢市だけの、伊勢市の市</p>

	<p>民の方に見てもらふ番組作りとなっていますので、なかなか番組を交換する、交流するというのが、現状では難しい状態です。</p> <p>松阪市さんでしたらそれは可能かと思っておりますので、また今後相談させていただきながら考えていきたいと思っております。</p>
井上委員	<p>将来、そういう交流はないのでしょうか。</p>
盆野部長	<p>貴重な意見ありがとうございます。</p> <p>実はこれが、我々のこれからの思いというものでございます。と申しますのは、今までシティプロモーション担当というのは、商工観光部にございました。これは、観光を売りましょう、観光に特化してやりましょうとした、結果が今委員からご指摘のあった入り込み数が最低ランクに近づいてきていると。</p> <p>何が間違いなんだろうという部分の中で、やっぱり地域資源というのは限られていると。然らば、その資源をもう少し広げて、津市全体が素材だと考えれば、ありとあらゆるものがありますよねと。</p> <p>例えば津市で年間1,000を超える事業を持っています。これが観光以外に900も、950もあると。この中で皆さん非常にお気づきの点や見たいなという事業がありますので、こういうのを全部、政策広報として今年からどんどんやっていきたいということで、私ども広報課の方にいただきました。</p> <p>まず手始めにさせていただいたのが、連携でございます。8月9日でございますが、知事のところに直接市長が参りまして、従来の県政要望をとりやめまして、新たな県政要望の項目で県と連携できることの第一として、こういうシティプロモーション、広報活動を一緒にやってみましょうと。</p> <p>例えば伊勢の御遷宮がございます。私ども香良洲の神社で来年3月29、30、31日でお木曳きがあると。こういったものを連携してシティプロモーションという形でやれば、もっともっと日本全体に、東京からの発信も、大阪からの発信もあろうということで、知事と市長がこれは良いアイデアだということでさっそくこれは動いております。</p> <p>それと市町村間ですけれども、特に四日市市と津市は東京事務所を持っておりまして、いわゆる東京での情報発信の中で、一緒に協働したイベントを展開しているのですが、これを津に還元したいということで、ホームページは日本全国どこでも見ていただけるということで、四日市のシティプロモーションを私共がバナーとして出したり、逆に向こうと一緒にやって、同じ内容を共有化していくことをやっています。</p>

	<p>委員ご指摘のように、動画、放送というのが非常に重要であると。今後はお知らせにとどまることなく、ニュースなどをホームページに貼りつけられれば見られると。最終目的でありますこういうケーブルを有する公共団体が互いに情報交換することで、相互的な情報発信ができるのではないかと。</p> <p>特に松阪とは境界を接しておりますので、さっそく私、向こうの地域連携部長、戦略部長の方に責任持ってお声がけをして、次回の時には何らかの進捗があるものとして、報告させていただきますので、よろしくお願ひします。</p>
中川会長	<p>よろしいですか。ではそのようにお願いします。</p> <p>はい、他にご質問の方。</p>
木下委員	<p>よろしいですか。まちのできごと、8分ほど撮っているのが結構魅力なんですけれど、これは記者クラブなどに行って調べられているんですか。どこで何をしているかというのは何もしていないと分からないですよ。</p>
樋口主幹	<p>記者の方に投げ込みのあった分を含めて、私共も広報課ですので、津市で行われるイベント等は全て情報が入ってきていますので、そういったところからです。そこからピックアップしています。</p>
木下委員	<p>2、3本なのはもったいないですね。</p> <p>日にちが重なったりしますしね。</p>
樋口主幹	<p>そうですね。イベント等につきましては、どうしても同じ日に重なってしまうことが多々ありまして、両方に行きたいという思いもあるのですが、どうしてもですね、先に依頼のあった方を優先して、行かせていただいています。</p>
上島委員	<p>撮影のスタッフが足りないということ？</p>
樋口主幹	<p>はい。また、機材等もございます。</p> <p>今回紹介させていただいたタイムテーブルを4人で撮影させていただいて、このタイムテーブルでいっぱいなんですけど、例えばスタッフを増やしたからニュースの本数が増えるかということ、なかなか難しい部分がございます。撮影してきた分については編集していかないといけません。民放のテレビ局のように編集機が10台、20台とあるわけでもございま</p>

<p>上島委員</p>	<p>せん。編集機が3台であれば3台で、撮ってきたものを編集していくこと になります。人がたくさんいても編集できなければ番組ができませんので、 そういったところから、現時点で作らせていただいている番組がちょうど いいのかなと考えております。</p> <p>よろしいですか。</p> <p>青少年健全育成から言ったら、意外と小学校区でいろいろな行事をされ ているのです。ところが、それは我々市民会議にも入ってこない。市民の 方に小学校区でこんなことをしているというのをもっと知ってもらいた いなど。</p> <p>大きなイベントだけでなく、小さなイベントの積み重ねが青少年育成に なっているんだと。逆に言えば、行政なのだからそういうところに力を入 れて欲しいと思います。小さなところに目を向けてもらって、それらを流 してもらおうということを大事にしてもらったほうが、もっと派手なこと でなく地味なことを。派手なことであれば、ZTVや三重テレビを見ればも っとあるんです。でもそれでは大きくなってしまふ。小さなことでいいの ではないかと。隣が何をしているかわかるような番組があってもいいので はと。それが身近なテレビ番組だと。自分たちのまちの番組でないのかと。</p>
<p>樋口主幹</p>	<p>ありがとうございます。</p>
<p>田中委員</p>	<p>今のことに関して、私も思ったんですが、いかにも網羅的に取り上げて いるけれども、基本的な姿勢として、何を市民に伝えたいかということが どうもはっきりわからない。今も放送番組基準を見ていたんですけれど、 確かにこれには合致しているだろうけれど、上島委員が言われたように、 今年は特にここに力を入れたいというのが、番組を見ている中でわかるよ うな編集をしてもらいたいなど。そうすると、一回では終わらず、ここ でもここでもとそういうものが見られるのではないかなと。それによって審 議委員の皆さんがそういう捉え方をするのではないかなと思うんです。</p> <p>それと、先ほど観光のことを言われたんですが、私は、他への観光のア ピールというのでしょうか、PRをすることも大事でしょうが、他へして もらう前に、まずは市民がそれを知らなければならない。</p> <p>例えば、今香良洲の資料館を放送していますが、それは今まではほとん ど市民の方は知らなかったのではないかと思います。市民はおろか、学校 の先生たちも知らない。私が前に行った時は、大阪とか京都あたりの小学 校から修学旅行に来て、いろいろ見ているんですね。聞けば、子どもさん</p>

	<p>たちは非常に真剣に、その資料をもって平和とか戦争でどのようなことが行われたのかを理解してくれていますと。</p> <p>やっぱりそんなことはまずは市民が知らなくてはいけないし、市民の方が市外の方に会う時に、そういったことを知っていたら、きっといろんな話題の時に言うことができるのだと思います。だから、いろんな史跡であるとか発掘されたとか、放送されたり新聞で取り上げられたりしていますが、取り上げる意味を十分捕まえて、この番組に入れてもらおうとありがたいなと思います。</p>
中川会長	<p>はい。よろしいですね、わかっていただけましたか。</p>
盆野部長	<p>ありがとうございます。今、上島先生、田中先生にご指摘いただいたように、本当に津らしさ、見ていただきたいのは何かということが訴えることができなければ、誰にも見てもらうことができないと思います。おっしゃるように、NHKはどこに行っても、日本の情報を全部放送しています。三重テレビは三重県内のものをされています。そういう同じ目線で、我々ケーブルがやっても、アイデンティティと言いますか、津ケーブルというのが何かというのが理解されないじゃないかと。</p> <p>今日の先生方のご指摘を踏まえて、どうすればたまにはケーブル見なきゃいけないよな、だってこれがこうだからという部分、一番の核を私たちもともに考えてですね、番組の編成にも取り組んでまいりたいと思います。</p> <p>少し余談ですけれども、今年春から市長と再三にわたって協議してきたのが、よく言いますのが、いろんな広報充実させます、ホームページ作ります、広報紙を刷新します、いろんなことを言ってますけれども、みんな一つ一つの単体のお話で、例えば、おうちで高齢の方が毎日インターネットをされているかどうか、これはわかりません。逆に忙しい方はなかなか広報紙を読むことができないと。じゃあそれで今までは広報紙とインターネットとケーブルテレビがですね、全くばらばらな情報を流していたと。そういう部分をやはり一番政策広報として、まずは市民のみなさんに訴えたいこととか聞いてほしいこと、これを同じ思いの共通した事項を目で見て、紙ベースで見てもらったりインターネットで見えたり、ケーブルテレビで見えたりしているというような形で複合的にすることによって、普段見ている媒体を、ここでも見られた、ここでも見られたということで情報がちょっとでも浸透するのではないかという信念のもと、媒体を複合化して今年からしております。</p> <p>もう一つは、市長がこれまでの広報津が悪かったとは申しませんが、本</p>

	<p>当に市民の皆さんが望んでおられる情報なのかと、原点に立ち返ったときに、一番知りたいことは、役所として今一番知られたくないことだよねと。例えばセンターパレスの経営が非常に危うくなってきて、ひょっとすると潰れたときには血税、税金をたくさん投入しなければならないと。こういう部分を今まではなるべく流さないで、津まつりには30万人来たよというような部分をやってきたんじゃないかと。そうすると声なき声を本当に拾うことができるのかと。やっぱり一番知られたくないけれども解決していなければならぬことをあえて出していこうと、今年から、広報津に関しても少し模様替えをしながら取り組んでおります。</p> <p>今の言葉で目からうろこが落ちたと言いますか、ケーブルももう一回原点に立ち返って、今私がここでこれをやりますというのではなくて、担当4名が、来年、本当によくやってくれたとおっしゃってもらえるような創意工夫をまずは考えて、結果を来年またお見せしたいと思います。それまで猶予をくださいませ。ありがとうございます。</p>
中川会長	<p>ありがとうございました。他にありますか。</p>
木下委員	<p>若い方のご意見もお聞きした方が。</p>
鈴木委員	<p>昨年度も委員をしまして、昨年度もちらっとお話ししたと思うのですが、やはりデジタル放送になっておりますので、データ放送についてはどうお考えですか。</p> <p>インターネットも然りですが、インターネットは設定とか繋ぐということが不便なところがあります。パソコン買って開いたはいいけど中々繋がらない、電気屋さんに頼まないといけない。でもテレビはつけたらつくんですね。データ放送もボタンを押したらデータ放送が流れるんですよ。データ放送でやると、より情報がもらえるのではないかと、またケーブルテレビ自体の目的が、この題名にあるように、津市行政情報ということですので、情報が一番必要だと思います。動画もわかりやすいとは思いますが、私はチャンネルを見る時は文字放送を一番よく見るんですよ、いつ何があったかなと。動画は一度見られればそれでいいのですが、文字放送を一度見てしばらく経つと、プラザ津が2時間あると、その間見られないですよ。次の機会に見ようかなと思うともう忘れてしまっている。そういう時にデータ放送を押せば、情報がぱっと出てくるので、より情報が伝わるかなと。今の世の中で考えるとデータ放送が有効に使えるかなと。ケーブルテレビさんの方では使えないんですか。</p>

樋口主幹	<p>はい。前回3月に鈴木委員からご意見をいただきまして、データ放送、前回の答えの中ではZTVにチャンネルリースをお願いしている中で、ZTVさんがデータ放送をしていただければできないという答えをさせていただきましたが、その後ZTVさんの方にどうですかと問い合わせをさせていただいているのですが、なかなかいいお返事がいただけていません。機械的には、ZTVさんがデータ放送を入れていただかないことには、津市のチャンネルをお借りしている中で、データ放送を行うことができないんですね。今後も引き続きZTVさんの方に、データ放送をという声がある中でできるだけ早い段階で入れていただけないかという要望をさせていただきたいと考えているのですが、現段階ではZTVさんに入れていただかないとできないというお返ししか。</p>
鈴木委員	<p>逆に、考えを変えて、ZTV待ちではなくて、行政から声をかけてやっってしまうということはどうですか。</p> <p>今のお返事ではZTV待ちなんですよ。ZTVがしてくれなければできない。でも行政の方が必要ならば与えるというか。そういうことは、できないんですか。</p>
樋口主幹	<p>ZTVの方に向けて機械を設置するというのでしょうか。</p>
鈴木委員	<p>行政が。</p>
木下委員	<p>費用がかかりますね。</p>
鈴木委員	<p>費用はかかりますよ。でもその情報が本当に必要であれば、いいですよ。</p>
木下委員	<p>お金はないのでは。</p>
樋口主幹	<p>ただ、ZTVも全くやらないというわけではないんですね。ZTVが全くやらないということであれば、そういう考えも、もしどうしても必要なものであれば、協議していかなければならないと思います。</p>
鈴木委員	<p>確かにまだデータ放送も知らない方も結構みえると思うんですよ。</p>

盆野部長	はい。素人なもので、ZTVの回線をお借りして私どもの番組がありますと。データ放送は技術的には今現在ZTVさんの放送の中で、視聴が不可能なのか、できるのか。
樋口主幹	現時点では、できないです。
盆野部長	費用を別にして、ケーブルテレビの番組に何らかの技術的な加工を加えれば、dボタンを押せば文字放送などが出てくるということは技術的には可能ですか。
樋口主幹	<p>技術的には可能だと思います。放送業界の中では、どういったことでも、費用をかければできるということでございまして、どれだけでも費用をかけるのであればできるのですが、ただそれが経費的に見合うものなのかということも考えていかなければならないと思います。</p> <p>ただ、ZTVさんに入れていただくことによって、津市は経費をかけずにお願ひすることができると思います。それが早い段階でされるのであれば、津市が今経費をかけてするというのは、税金投入ということになりますので、そういったところを考えますと、ZTVさんが近くされるというように考えております。というのも、ZTVさんがハイビジョンの放送に切り替えられたのも最近なんですね。一般的な放送に比べて、遅れてはいるのですが、ZTVさんが新しい放送方法に切り替えていかれている中で、データ放送も今後は近いうちに考えていただけると聞いております。それに合わせて、津市もデータ放送ができるようにZTVさんにお話しさせていただきたいと考えております。</p>
鈴木委員	もうひとつ。ふと思ったんですが、ZTVにこだわらず、三重テレビでデータ放送の一部を公開することはできないんですか。データ放送の中で、津市の行政を押すとリンクされて津市の行政情報が出るような。
樋口主幹	ZTVさんには、チャンネルを1本まるまるお借りしている状態です。ですので、そのチャンネルについては津市が費用を払っていますので、好きに使えるという部分があるのですが、三重テレビさんのデータ放送となってくると、三重テレビさんが自社のデータを流したいというところがございますので、その中で津市のデータを入れていただくことができるかどうか、これも一度三重テレビさんに確認しないとわかりませんが、なかなか難しいのかなという部分だと思います。ただ、委員からご指摘をいた

	<p>できましたので、三重テレビの方へは、そういったことが可能かどうかを含めて調整していきたいと思います。</p>
鈴木委員	<p>あともう1個よろしいですか。</p> <p>このカラー刷りの方ですが、HPアドレスで「まるっと津ガイド（動画）」という形で載せていただいています。これはいつからありますか。</p>
樋口主幹	<p>番組表のところでしょうか。</p>
鈴木委員	<p>番組案内の中のところのHPアドレスで上の方に『「まるっと津ガイド（動画）」をクリックしてください』と書いてあるのですが、これはいつから始めたのですか。それと、これはアクセス数はどれくらいあるのかなと思ひまして。</p>
樋口主幹	<p>HPの動画につきましては、平成20年くらいからやっております、今、少し変わりましたが、津市のHPの左の下のほうにずっとありましたが、今は、右の上のほうに「まるっと津ガイド（動画）」という形で、入口を先週からわかりやすく作り直させていただきました。</p>
鈴木委員	<p>ありがとうございます。</p>
盆野部長	<p>少し補足説明よろしいでしょうか。</p>
中川会長	<p>はい、どうぞ。</p>
盆野部長	<p>現在、津市のHP全体のヒット数をカウントしているのですが、大体1月に40万ヒットぐらい、一番多いのでは、1週間単位にカウントを取っております、1週間で5,000件くらいというのが頻繁な方でして、ただこの「まるっと津ガイド」がどれくらいというのまでは数字がないので申し訳ないのですが、アップしますと始めの1週間から2週間まではアクセスが多くなるのと、バナーの工夫によって極端に数字が変わってきます。またHPに多くの動画を載せようというはですね、この4月から試行錯誤の中でやっている中で、前から隠れて載ってはいるけれども、いくつかクリックをしないとたどりつかなかったという部分で、必要な情報は前に出してこようということで、HPの画面のバナーの配置を逐次工夫をしたりしております。</p>

	<p>もうひとつ、前段に戻りますが、ZTVだけではなく三重テレビでもいいじゃないかという中で、実は三重テレビが、リモコンを順に送っていただきますと71、72と裏系統の電波を使って、市長がほぼ毎月1回「旬感みえ」という番組の中で防災やいろんな単元のことを15分から30分の編成で流しています。ただ、データにつきましてはご指摘いただくところまで、なかなか手がつけられていないという状況ですが、実は合併前に一志郡で電波障害がたくさんある中で、自治体として、全ての世帯にケーブルを引いたという名残のある中で、たまたまアナログからデジタルに変わったので施設更新をすると数十億というラインでなかなか津市単独運営は難しいという中で協議をし、議決をいただいてZTVに設備を移管した経過があって、三重テレビがどうというのではなく、ZTVさんに緊急時の防災などを含め、全てサポートしていただいている中で、旧一志郡の方が電波障害なく海岸部と同じようにテレビを見ていただけるにはZTVが一番便利かなということでお願いしております。</p> <p>従いまして、三重テレビさんは三重テレビさんとして、私、直接市長に報告しまして、データ放送の活用もご提案いただいて、何らか防災の部分だけでも無償でご協力くださいなども言えると思いますので、順次「来年からやります」とはここでは言えませんが、できる限り汗をかきまして、なんとか進めてまいりたいなと思っておりますので、少し時間を頂戴したいと思っております。以上でございます。</p>
中川会長	<p>ということです。期待をしたいと思えます。努力をしていただければと思いますので。</p>
	<p>はい、他の方よろしいか。</p>
上島委員	<p>今に関わりまして、ZTVでは番組表では出てきませんか。ZTVのは時間で出てくるのですが、この津の番組は出てきません。あれがあれば、何時からこんなのあるとわかっていいなと思うのですが。「番組表」というのを押すとZTVまでは出てくるのですが。</p>
樋口主幹	<p>今、津市の番組では「まるっと津ガイド」という風には出てくると思えます。また「プラザ津」という2時間の番組は午前8時と午後2時と午後8時の3回あるのですが、これにつきましては1週間前から内容も出るようにさせていただきました。ただ、1時間のリピート番組につきましては、詳細につきましてはニュースもありますので、タイトルにあげることが困難ですので、とりあえず「まるっと津ガイド」という1時間の枠では出る</p>

	<p>ようにさせていただいているのですが。</p>
上島委員	<p>ZTV直接からは出てきませんよね。何か設定があるんでしょうか。</p>
樋口主幹	<p>ZTVさんや他の民放さんのように細かくは出ないです。「まるっと津ガイド」という形でしか出ないと思いますし、「プラザ津」の場合ですと、講演会の内容などが出るようにはさせていただいています。ただ、見にくいのかもしれないので、調整させていただきます。</p> <p>これも入力につきましてはZTVさんに入力をさせていただいております、「こういった番組を作りました」と依頼をさせていただいて、1週間前に入力をさせていただいていますので、もう少しわかりやすいようにZTVさんと調整をさせていただきます。</p>
上島委員	<p>テレビのリモコンの「番組表」というのを押せば出てくるんですね。</p>
樋口主幹	<p>はい。出てくると思います。</p>
盆野部長	<p>うちも改良できる点、申し入れる点につきましてはきちんとさせていただきます。また、ご家庭に戻っていただいてぜひ一度お試しをお願いします。</p>
中川会長	<p>他の方、よろしいですか。</p>
木下委員	<p>パソコンの時代ですので、こういう若い方たちの子どもさんたちのニュースなんかをたびたび取り上げて注目されると、たくさん見ていただけるのではないのでしょうか。</p>
樋口主幹	<p>私どもも「まちのできごと」、ニュースの中で、先ほど上島委員からご指摘がありました。教育委員会を通しまして、できる限り小学校の方から催しなどをお教えいただけるように直接お願いをしているのですが、なかなかご連絡をいただくのが同じ小学校や中学校と偏ってしまっていることもあります。もちろん、こちらから把握しまして、小中学校等の子どもさんの催しなどがありましたら、極力行かせていただいて、行政的なニュースに偏らず、地域の方のお祭りであったり、小学校の子どもさんを中心としたイベントであったりというような様々なニュースを織り交ぜて放送できるように考えさせていただいてはおりますが、なにぶん情報がなければ</p>

上島委員	<p>行けない部分がありまして、幼稚園ではプール開きや小学校の稲刈りなどは連絡をいただくのですが、季節がどうしても重なってしまっています。</p> <p>でも連絡してくるのは大体限定された学校でしょう。よくわかっているところは連絡するし。</p> <p>ただ、例えば小学校も知らないことがいっぱいあります。旧の町村の教育の事務所なりがつかんで、こんなことがあるということでやらなければ、小学校も地域のいろいろなことまではわからないです。青少年健全育成もそういったイベントまではわからないと思います。なので、どこかがそれをつかんで、まあ、つかんでも全部は行けないと思うが、そういうのがなければ言うてくるのを待つだけでは限定されてくると思います。そういうことが好きな人もいるし、とにかくテレビで売れと言う人もいれば、地道にやれと言う人もいると思うが、市民としては「あの学校の子はよく出るけどうちの子はちっとも出ないわ」ということになってくるし。</p>
木下委員	<p>広報から、募集をかけるのは？「ここは、こういった変わったことをやっている」と。</p>
上島委員	<p>大きな番組だったら言うてきたのでいいと思います。ニュース的なのは言うてきていただいたのを選んでいただいて全体を見ながら、短い番組でいいのでやっていくのが一番いいでしょうね。</p>
木下委員	<p>そうですね。それだと若いお母さんたちも見てくれるし。</p>
樋口主幹	<p>幼稚園、小学校、中学校は合わせて教育委員会で学校の催しをとりまとめられていますので、そういった情報をいただきながら、こちらの方で調整をして撮影に行かせていただきたいと思いますのでよろしくお願いします。</p>
中川会長	<p>田中委員、教育委員会は事前にどの程度把握しているのでしょうか。</p>
田中委員	<p>毎月、今月の学校の行事や主な活動などの報告をしていますね。</p>
上島委員	<p>学校の行事としてはあがってきていると思います。ただ、学年の行事、例えば「理科の時間に何をやる」というところまではあがってきませんね。</p>

中川会長	<p>合併もしましたので、教育委員会ともう少し連携すれば新しいことが出るかもしれませんね。</p>
田中委員	<p>学校よりも子ども会などで、地域で子どもがどのように育てられているかとか、そういったつながりの中で伸びていくかなど、そういった捉え方をしてもらいたいと思いますね。</p>
上島委員	<p>例えばですね、今年、うちの青少年健全育成が将来的なものを考えた時に、今、中学生の参加が少ないではないかという、子ども会などへの参画的な観点から、中学生が運営に携わらなければ次につながらないということで、今年目標をそこへ置きました。なんとか中学生をそういうところへ引っ張ってくる計画をしようということで。</p> <p>ですので、そういった視点でテレビで映してもらおうと、中学生がやっている姿やそういったものが連携できたら、市民へそういったものを広げる一つになると思います。そこらへんで連携できたらなと。</p>
木下委員	<p>昔のことが衰退してきてますからね。</p>
樋口主幹	<p>上島委員からお話があったように、中学校との連携であったりという部分につきまして、他の部分につきましては、こちらから話をさせていただきながら素材を探させていただくんですが、もしそういったデータやお話があるのでしたら、お教えいただきましたら、こちらの方から撮影などへ行かせていただくこともできると思います。</p> <p>ただ、今、津市の行政番組で、ニュースで取り上げるのが津市の主催であったり、共催であったりというものに限らせていただいています。子ども会も津市の主催や後援であれば撮影させていただいています。単体の行事であれば現状では撮影はさせていただいておりません。ですので、津市が後援に入っているというものがあれば撮影に行かせていただきたいと思っておりますので、もちろん重なってなければということにはなりますが、ぜひそういったものがあれば、広報課でもケーブルの担当でもお教えいただければと考えています。</p>
上島委員	<p>「こんなのやってよ」というのも大事だけれども、例えば5月なりが終わった段階で、どこもかも総会が終わります。総会で今年こういうものやっつけていこうということが決まりますので、そういった団体の代表を集めて、どういったものをどういった趣旨でやっていくのかを聞いてもらっ</p>

	<p>て、そういった段階でどういう番組をやっていくのかをそちらで考えていったらいいと思います。そういった聞く機会は大事だと思います。総会をやっているときに一度来ていただいたらわかると思うのですが。それこそ総会を映してもいいと。</p> <p>例えば青少年健全育成市民会議の総会の中で「中学生参加しよう」という意図の話をしています。そこを流して、今年はこれでいくんだということを市民に知ってもらえます。そういうことを映して流してもらくと、短い番組で「総会が行われました。こういう趣旨でした」と流すだけで違うと思います。それだけで市民に訴えるものがあると思います。それが無理なら、代表を集めてもらって、今年はこういう趣旨を大事にして撮影していこうとか、ここに視点を当てようとか、そういうことが見えてくると違うかなと思うのですけど。</p>
樋口主幹	ありがとうございます。
木下委員	そういえば、今度PTAの全国大会があるのと違うの。
鈴木委員	来年ですね。
木下委員	来年ですか。すごく大きいですよ。
鈴木委員	平成25年の8月です。全国のPTAが集まります。
中川会長	それは津？三重県？
鈴木委員	三重県が主管です。 伊勢が全体会ですが、津でも第一分科会が県文で2日間あります。
木下委員	そういう準備をしているとか、こういうので見たことないですが。
鈴木委員	連合会の方では総会だけは取材していただいています。
樋口主幹	はい。津P連さんの総会につきましては撮影させていただきました。
鈴木委員	そうなりますと、この間も美杉とかで、「ふるさと体験」ということで子どもたちを集めてバスで体験学習もしていますし、これはZTVさんは来

	<p>てもらいましたが、他にもいろいろな親子ふれあいフェスタとか、親同士のソフトバレーボールだったり、ソフトボールをやったり、そういったいろんな催しもたくさんありますので、来てもらうのも助かるのですが、情報をくださいと言っていたら事務局から情報をお渡しすることもできますので。</p>
樋口主幹	<p>ありがとうございます。また事務局へは後日連絡をさせていただきます。</p>
田中委員	<p>全国の話が出ましたので・・・、今年9月の29、30と「全国ボランティアフェスティバル」が津市で開かれるのはご存知ですね。</p>
樋口主幹	<p>はい。</p>
田中委員	<p>取材は？</p>
樋口主幹	<p>取材は、今のところ9月の予定というのがまだ入っていないのですが。</p>
田中委員	<p>分科会で、津西地区の社会福祉協議会の方が、1人のレポーターになっているんですよ。それは、「ふれあいいいききサロン」という全国の交流会があるんですけど、今、津市ではそういうのが広まりつつあります。1つのモデルケースではないかなと。私たちはそれを期待しているのですが、ぜひ、津市の広報の中でケーブルテレビでも取り上げていただきたいと。</p>
樋口主幹	<p>もちろん撮影などは他に入っていないければお寄りできるものについては撮影をさせていただきたいのですが、先ほど鈴木委員からもお話がありましたように、前回、美杉にはZTVさんが入っていらっしゃったというようなお話がありましたが、ZTVさんは地域の民放局になりますので、どうしても撮ったものを放送する時期が同じようになってしまいますので、ZTVさんが取材に入ったものは、津市の広報の方では撮影は控えているというような状況です。ですから、そちらについてもZTVさんが撮影に入られるということでしたら、こちらがお伺いすることはできないかもしれませんが、またそういった部分も含めまして調整したいと思いますので、情報等また連絡いただきたいと思いますので、お教えてください。</p>
鈴木委員	<p>我々は情報提供をZTVさんに流すんですよ。逆に、行政がほしいと言</p>

	<p>われるのでしたら行政に先に流しますんで。</p>
上島委員	<p>どうしても大きい方へ行きますよね。三重テレビ、もっと言えばNHKとか。全国版の方がいいから。</p>
鈴木委員	<p>ZTVと三重テレビ、あと各新聞社に連絡をして、取材に来ていただけたところもありますし、例えば昨年度ですと東紀州の台風の災害の時に募金活動を行ったんです、PTAの方で。そういったものを新聞で取材に来られてましたし、まあ、そういった情報提供を行政の方が先にほしいということでしたら先に提供します。</p>
樋口主幹	<p>ありがとうございます。もちろん情報提供をいただいて、全て撮影にお寄りさせていただくというわけではありませんが、他と重なってなければ極力撮影をさせていただいて、「まちのできごと」の中で放送できるものであれば撮影をさせていただきたいと思いますので、また情報提供をお願いします。</p>
中川会長	<p>そうですね。あとはケーブルテレビがどうするかは別としてですね。お知らせしないと来ようがないですので、現場の人間が一番よく知っているので、情報提供を。</p>
盆野部長	<p>最後によろしいでしょうか。</p>
中川会長	<p>はい。</p>
盆野部長	<p>これは担当の方に私からお願いしたいのですが、委員の方々は「これやりなさい、あれやりなさい」ではなくて、発想の転換というか、違う物の見方で考えたらどうなのと。</p> <p>前段の所で、津市のケーブルテレビとして、こういう使命があるんだという共感がいただけたら皆さん見ていただけると。それは今までのように教育事務所や教育委員会から、こんなのがあって、順番はこれはこうという、あてがわれたものを撮りに行こうという視点から脱却して、例えば今年は中学生にスポットを当てて、小さなできごとでもいいので、同年代や中学生を持たれる親御さんが、なるほどね、という部分の、そういうものを自分たちがやりたい、だから教育事務所さん、教育委員会さんに、そういう部分にスポットを当てて、こういう情報をくださいという、発想の転</p>

	<p>換をすれば、「待ち」から逆に「攻め」に行けば手法は変われども結果として、やるほうも自分でやりがいを感じるし、見ている方も、こういうところを視点にしているのかと思う部分の中で、全部が全部やります、やりません、時間的なものがどうというのではなく、取り組めるところから自分たちの発想を柔軟に、何がやれるのか、何をやれば見ていただけるのかというのを常に考えて、改良を心がけていただくということをご提案いただいたと思います。</p> <p>そういう視点で「皆さん情報ください。行けるか行けないかわかりません」という結果的なことではなくて、一度、これからの番組作りはどうあるべきかということをお問自答して、今までと違う手法で、「こういうのをやりたいから、こういう情報をくれ」という風に、自分たちで創意工夫をしていくといいのかもしれないね。という風に私は受け取ったんですが。</p> <p>先ほどから聞かせていただいて、私は元々美杉なんですが、美杉は元々ケーブルテレビで、美杉の時もこれくらい的人数で美杉中を走り回って、苦労されていたんです。私もずっと関わって知っていますので。まあ、広い範囲になって、いろんな情報と言われると、ちょっとパニックになってみえるのと違うかなと、そういうところもあるんです。先ほど部長さんが言われたようにですね、ケーブルの委員の中で、今年はここを重点にしたらどうかということをお提案しておかないと、何もかも引き受けられるとなるとこの人数では大変だと思います。ですから、「中学生に重点を置きたいんです。だからこういう形で情報をいっぱいいただきたいんです」というようなことを優先的に放送題材にあげていくとかですね、委員の中で、何か提案をさせていただけるようなことがあれば、今年はこれを重点的にしていって、その間にはこういうものを入れていこうというような計画もさせていただけるのではないかなと思いますので、委員の中でそういう提案をさせていただければいいのではないかなと思います。</p>
中田委員	
中川会長	<p>という提案です。</p>
中田委員	<p>いろんなことがあるのではなく、上島委員が言われるようなことは初めてじゃないですか、このケーブルテレビの審議会には私もずっと来させてもらっていますが。ですから、そういったことを今年は情報をいただいて、ちょっと変わった視点でどうですか、といった感じです。まあ、全体では変えられないと思いますが、今年1年、12ヶ月ありますので、そのうち何回かはそういったところを取り上げていただくという形に持っていかな</p>

上島委員	<p>いと決まらないと思うんですよ。同じ日にイベントがあって、土日に重なりますよね。そうすると、どこへ撮影しに行ったらいいかなと。ですので、優先的にこちらへ行くという形で。</p> <p>ただね、申し訳ないですが、例えば青少年健全育成市民会議の本部が、どこでどんなことが行われているのかわからない状況です。というのも、こちらが、「こんなのしなさい」と言ってやってくるならわかります。今までやってきたことを踏襲しているだけなんです。だから、それが大きなものならわかるんですが、細かいところでやっているのは、その支部みたいなところしかわからないんです。今、他の団体も同じだと思います。これまでと同じことをやっているだけで、津市になったからこうしようというところまでは、まだ進んでいないのでわかりません。ですので、情報を得るのは団体では無理ですよ。ですので、そのあたりを事務所なりでつかんでくれないと難しいのと違うかなと。こちらからも、こういう趣旨でやってくださいとは言っているのですが、どこがやっているのかというのは、実際はつかめていないです。つかめていないので、私たちはこれを頼りにするんです。映してもらおうと、ここでこんなことをやっているのだから皆の前で発表してもらおうじゃないかと。ですから多分そちらもつかめないと思います。さっきの趣旨でやっていることはどこということは、つかめないと思います。行ってみたらやっていたと。</p>
中川会長	<p>なかなか難しいですね。</p>
中田委員	<p>そうですね。事務局の方も難しいと思うけど。</p>
木下委員	<p>でも、この番組の編成を見ると、以前からずいぶん変わってきているんですけど、市長が変わったからか、市長の分がめちゃくちゃ多いな。テレビつけると、いつも市長が映っているんですけど。これ、ちょっと悪いけれど削ることはできないの。市長ももう慣れましたし。</p>
盆野部長	<p>すみません。一つは私たちがこの4月にシティプロモーションをどうやって効果的にやっていこうかというところで、焦点を一つに特化するほうが、要は情報発信は一つの窓口から多方面の窓口へ流したほうが一番効果的ではないかということで、我々はスポークスマンを誰に置こうというところで、正直、この広報の安藤アナウンサーを含めて、彼女が全て広報紙から何から何まで登載できるのかと言った時、なかなか難しいこともあつ</p>

	<p>て、じゃあ、私どもは市長という一つの機関を使って全ての情報発信のスポークスマンになっていただきたいと。それが紙ベースであったり、インターネットベースであったりという中で、「この人が出てきたら、市役所の政策広報をやるんだ」くらいのイメージで、今年はやってみたいということです。しかし、そういうお声も拝聴しましたので他の方も映るようにしたいと。</p>
木下委員	<p>市長のアップを映さずに、例えば周りの子どもとかを多く映したら。新聞でもなんでも知事と前葉さんの写真がめちゃくちゃ多くて。ちょっとね、もう慣れてきたから。</p>
盆野部長	<p>貴重な御意見として拝聴いたします。</p>
中川会長	<p>私、3日前に知事と1時間ばかり自治会の県の会長、副会長が会う機会があって、いろんなことをおっしゃいますがね、前の野呂さんとはだいぶ違うなど皆言っているわけですよ。「なんとかしないといけない」という、いろんな思いがお2人とも新しくなられてあるんだと思います。ですから早い段階で、去年1年目です市長から頼みがあると言われて、「何でした」とお聞きしたら、自治会の連合会単位で一度会わせてもらえないかと、押しつけではなく現場の希望に合わせますということで、結局1/3くらいありましたね、市長を呼んで話し合うという場が。そうやって出ていく、何とか話がしたい、訴えたいという気持ちは、いい意味で非常に強く持っていますね。それがいろんなところへ出ていくんだと思いますが。</p>
盆野部長	<p>市長が考えていることは、自分が与えられた職責をただこなせばいいではなくて、与えられた以上は、自分がやっていることが市役所に対する信頼になるということで、市長がいつも言っているのが「声なき声を拾いたい」と。大きな声はたくさん聞けけれども、その大きな声だけを聞いていればいいのかというと違いますよね、と。やっぱり市民の皆さんがなるほどと思う声を引き出すには、自分から皆さんへ発信すること聞くことだということで、色々なところに行かれますので露出が多いのかなと思いますね。</p>
木下委員	<p>でもね、あんまり露出して「あれ」ってことになるといけないので、少し画面からカットしていただいたほうが。</p>

<p>盆野部長</p>	<p>わかりました。</p> <p>最後に、少し時間も迫ってまいりました。我々も気づきのなかった点があるのですが、先ほど中田委員さんからもご指摘いただきました、例えば青少年というテーマなど、一つのことに焦点を当てていこうというご配慮をいただきましたが、なかなかこの場で決まることでもありません。逆に私どもの宿題としまして、皆さんに考える元をいただいたわけですから自分たちで一生懸命考えて、例えば教育を取り巻くものを、見ていただいた方々に伝わり、その思いが広がるようなことを自ら創意工夫をして考えさせていただきたいと思います。その結果が、毎回3本のうち1本がそれだとはいきませんが、1月に1本や2本はそれだというように意識がけて我々からも情報を取りに行くという攻めのプロモーションをやっていくということで、この場は御容赦いただきまして、よろしく願いいたします</p>
<p>中川会長</p>	<p>はい。部長からのお話もありましたので、こちらも言うのも大変ですが、事務局はもっと大変で、どれをこうやってああやってというのは難しい。しかし、ワーッと映してスーパーマーケットのようになると、なんでもかんでも映していると言われるし。</p> <p>しかし、そういうスーパーのようなところから始まって、流す時には専門性のあるようにしないと骨がないといけませんので、期待をさせてもらって、大変ですけれども一つよろしく願いいたします。</p> <p>では、いろいろご意見伺いました。この放送内容については、またお考えいただくとして、「その他」の項へいきますがよろしいでしょうか。</p> <p>では、「その他」の項で、事務局、何かありますか。</p>
<p>青山課長</p>	<p>特に事務局からはございませんが、先ほどもいろいろとご意見、ご質問をいただきましたが、他にも何かございましたら、お聞かせいただきたいと思えます。</p>
<p>中川会長</p>	<p>はい。事務局はないようです。皆さん方からその他の項にあてはまるようなことがありましたらどうぞ。</p>
<p>井上委員</p>	<p>次回はいつごろですか？年に何回くらい開催されますか？</p>
<p>中川会長</p>	<p>はい。では事務局でお答えください。</p>

樋口主幹	<p>こちらの審議会の開催ですが、年に1回を考えております。ですから、来年の8月に開催を考えておりますが、冒頭に申し上げましたように、基本計画等に変更があった場合につきましては、その都度また会長の方から招集ということになっておりますので、変更があった場合にはお集まりいただくこととなりますが、何ものなければ来年の8月ということで考えております。</p>
中川会長	<p>ということですが。よろしいですか。</p>
井上委員	<p>はい。</p>
中川会長	<p>今のところは年1回で、次回は来年の8月を予定しているということですね。</p> <p>他に何かありますか。</p>
中田委員	<p>このへんは民放でも昼はコマーシャルばかりですので、そんな時はZTVとか行政番組とかよく見るんです。だから、番組の方は皆さんが言っていることを考えていっていただきたいですね。お昼の方が見る機会が多いですので、ぜひ。夜は民放で見たいのとかがある見てしまいますので。</p>
中川会長	<p>いろいろ要望しますけれども、一つそちらで整理していただいて、お願いしたいと思います。</p> <p>何もないですか。</p> <p>なければ予定していた案件は終わろうと思いますが、よろしくお願いたします。</p> <p>では、これで終わりますので、事務局、最後にどうぞ。</p>
青山課長	<p>本日は、長時間にわたりまして、ご審議いただきまして、どうもありがとうございました。</p> <p>本日、いただきましたご意見等を踏まえまして、さらに精進して、よりよい番組づくりに努めてまいりたいと思います。</p> <p>今後の当審議会の開催につきましては、先ほども申しましたように、何ものなければ来年の8月を予定しております。また、その他、私どもの番組</p>

<p>樋口主幹</p>	<p>についてお気付きの点等がございましたら、広報課またはケーブルテレビの方へ直接ご一報いただければと思います。それでは、担当の方から、事務連絡をさせていただきますので、よろしくお願いします。</p> <p>本日は、お疲れさまでした。ご来庁の際の駐車券へ押印していただくゴム印をご用意させていただきましたので、ご利用の方はお申し付けください。</p> <p>また、先日お送りさせていただきました、「費用弁償の請求書」につきましては、事務局職員へお帰りの際にお渡しいただきますようよろしくお願いします。</p> <p>なお、予備もご用意してございますので、ご利用の方は、お申し付けください。以上でございます。</p>
<p>中川会長</p>	<p>はい。それではこれで終わります。長時間ありがとうございました。</p>